

* 3 現在はいろいろの問題となる項目の集積が主たる目標なので、会合に出席されなくとも情報、意見などお寄せくださることをお願いいたします。

2) iPS (万能細胞) と規格化

最近。iPS の話題をめぐって多く議論が提供されています。

deFACT 規格化をめぐって国際的にも競争が始まったようですが、日本では規格化は尚早であるという議論のようです。これでは既に出発点か遅れを取っています。早く主導権をとって、外国から批判をさせないといけないのです。日本人は批判を恐れて行動を起こさないという欠点があここでも現れ始めたようです。この研究の発想はヒトの遺伝子決定が出来た段階から必然的に出てくる考え方で特に独創的というわけではないのですから。

日本経済新聞

「米標準」狙い 巨額投資

米産地での米穀加工技術の高度化を目指す。米産地での米穀加工技術の高度化を目指す。米産地での米穀加工技術の高度化を目指す。

氏名	年齢	学年
アブドゥルアズィズ・ムハメド	田	3カ月
ゴードン・ウィリアムズ	男	30歳
アムル・ムハメド・アブドゥルアズィズ	男	6歳
ストロブ・ティルビー	男	7歳
ペーター・クリストフ・ストロブ	男	7歳
カリン・クリストフ	男	1歳
バーナード・クリストフ	男	77歳
クリストフ・クリストフ	女	42歳
ハンナ・クリストフ	男	20歳

（白）クリストフ・クリストフの家族写真

クリストフ・クリストフは、米産地での米穀加工技術の高度化を目指す。米産地での米穀加工技術の高度化を目指す。米産地での米穀加工技術の高度化を目指す。

3)

ジャーナル No.005 * 3で次のようにお知らせいたしました。

* 3 今まで、SABSはその事務所の場所をはっきりしていましたが、何処で会議をしているかはっきりしませんでした。 2008年4月から毎月第4水曜日午後1時から5時までを定例の会合を行うことにしようと思っています。しばらくはサロンのように運営しますので

上記の時間中好きな時間にやってきて、好きな議論をして、記録を残し、好きな時間に

帰るというやり方になると思います。 それでも何か中心課題は必要なので、バイオテクノロジー関係の規格の見直し、新しい規格の設定、などが中心の課題になります。さらに、これを拡張して電子会議が出来ればそれに越したことはありません。場所は渋谷、東急ハンズうらの八雲クラブを想定していますが、予約が出来ましたら、改めて番地、地図などを配信する予定で居ます。会員も会員でない人も自由に参加できる ASTM のような形態を想定しているのですが・・・

7月の会合の詳細を次のように決めました。将来どのようになるか分からないので、理事長の招待と言うことにして、今回も参加費無料ということで開催したいと思います。興味ある方はふるってご参加ください。

バイオテクノロジー標準化支援協会 第3回定例会

(2008年7月)

日時 2008年7月23日(水) 午後2時—4時

(会場には世話人は1時から5時まで居りますので この時間帯にきてくださっても結構です。)

場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10階・1001号) (首都大学東京同窓会)

(前回の出席者の方から会場の場所が分かり難いというコメントがありました。)

簡単な見つけ方は、まず、“東急ハンズ”を見つけてください。正面から見て左の辻を入るとハンズの商品の搬入口があります。その入り口の左側がニュー渋谷コーポラスの入り口です。)

住所： 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号： 03-3770-2214

話題 1) サプリメントの規格化はどうすればよいのか？

参考資料

からだの科学 別冊 "サプリメント" 板倉著

2) その他 iPS 万能細胞をめぐって。



奥山 典生

東京都立大学(首都大学東京)名誉教授

(株) プロテイン テクノス インスティテュート

t&f 045-981-9455

E-mail ① protein-tech-inst@g01.itsc.com.net

② OkuyamaTsu99@aol.com
